

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	<b>KSG master</b> (ケーエスジーマスター)
現在の主な活動内容・活動実績	18年前、共進中学校個別支援学級卒業生の、自分の感性を自由に表現できる織物「さをり」を、卒業後も続けたいという声を受け、フォーラム横浜の生活工房を借りて織りの活動を始めた。障がいを持った方に限らず、余暇や自分を表現する場を持つことは重要で、今では卒業生以外の方も参加されるようになっている。織った作品をフォーラムまつりなどで販売したり、その売り上げの一部を東日本大震災やその後も続く自然災害への支援としてきた。作品を披露したり販売したりする機会は限られているので、今後、活動の拠点を作りたいと考えている。併せて、誰もが集える居場所づくりをしたいと考えている。
提案場所	南区 南太田・1丁目
提案名 (25字以内)	誰もが百点満点！自分らしさを表現できる居場所作り
提案する施設（どのような施設の提案ですか）	商店街の空き店舗を借りて次の改修整備を行う。 ○「さをり」を行う工房の整備○ギャラリーとして使用するための壁面・照明の整備○多目的に使用するための可動式間仕切りの設置○小箱ショップのような棚設置○カフェが出来るミニキッチンの整備○グループで調理を行うことができる調理台の設置○くつろげる空間として畳の間の設置○入口にスロープを設置○車椅子利用可能な多目的トイレの設置○中の様子が外からわかるような大きなガラス窓の設置○内装には国産木材や自然素材を使う <u>整備費用の概算額：約500万円</u>
活用イメージ（提案する施設でどのようなことを行いますか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの感性を自由に表現できる織物「さをり」の織り体験やその作品の発表・販売を行う。</li> <li>・地域のクリエイターの方の作品発表・販売の場を提供する。</li> <li>・ものづくりやアート活動のワークショップを行う。</li> <li>・障がいのあるなしにかかわらず誰もが集える居場所とする。例えば、メンバーの中心は中学校個別支援学級の卒業生なので、障がいの当事者あるいは親や近くで関わってきたものが多く、子育て時に不安なことを相談したり、子どもと一緒に気兼ねなく過ごせる場とする。</li> <li>・高齢者や車いす利用者の方も気軽に訪れ、アートや創作活動、レクレーション、ワークショップなどを楽しんだりできるようにする。</li> <li>・小学生や、中高生などを対象に、みそづくりや簡単な調理など生活力を着けるワークショップを行う。</li> <li>・特別支援学校生やその卒業生が、気楽に集える居場所にする。</li> <li>・内装を、国産材や自然素材を使ったり、カフェで使う材料を吟味して、化学物質過敏症やアレルギーのある人も安心して利用できるようにする。</li> <li>・畳の間を設置し、くつろげる場とする。</li> </ul>
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課	・「さをり」の作品がたくさん生まれているが、それを披露したり販売する機会が少ない。地域にもアーティストやクリエイターがいて、発表の機会を持ちたいと思っている人がいると思うので、表現する場を作りたい。

題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案する地区はドンドン商店会の中にあり、昔は50店舗以上のお店が加盟しにぎわっていた。しかし閉店するお店も多く、現在では10店舗ほどとなっている。</li> <li>・アートの発信や自分らしく過ごせる居場所づくりすることで、この地域に住む方たちだけでなく、他地域の方たちも呼び込み、この地域を活性化したい。</li> </ul>
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さをり」は一人ひとりの感性を自由に表現することができるアートである。アート作品の発表（お店だけでなくインターネットでも発表）により、ドンドン商店会に他地域からの来訪者を呼び入れ、地域を活性化したい。</li> <li>・誰でも集える場をつくることで、障がいのある人も、ない人も、高齢者も小さいお子さんを抱えている人も、小学生、中・高生などの学生さんも世代を超えたつながりを持つことができる温かい太田地区を作りたい。</li> </ul>
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドンドン商店会のいろいろな事業所と連携したり相談したりして、事業費削減を図る。</li> <li>・準備期間に、ドンドン商店会のイベントに計画段階から参加協力し、この地域に居場所づくりをすることを周知する。</li> <li>・NPO法人の立ち上げを準備しており、この事業に賛同し、一緒に協働してくれる人を広く募集する。</li> </ul>
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在活動しているメンバー以外も声をかけ、個別支援学級卒業生や親御さんをただ参加するだけでなく運営側に入って活動してもらうようにする。</li> <li>・展示や販売をしたい（小箱ショップに出店したい）という人も場所借りだけでなく店番など店のスタッフに入ってもらうようにする。</li> <li>・ドンドン商店会に加入し、縁日やイベントを協働して行う。</li> <li>・男女共同参画センター横浜南（フォーラム南太田）での、働きづらさに悩むガールズサポートと連携して、店のスタッフに入ってもらうようにする。</li> <li>・小中学校の個別支援学級と連携し、職場体験の機会を提供する。</li> </ul>
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	<p>「さをり」という織物は、自分の好き好きに織ることができる自由な織物です。こうしなければならぬということもなく間違いはありません。誰もが百点満点！なのです。この「さをり」の哲学をベースに、様々な人が自分らしさを自由に表現し、お互いを認め合える居心地の良い居場所づくりをしたいと思います。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5）への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
土地・建物の所有者	提案応募することは承諾しました。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

# 都市計画基本図



位置図



外観写真1



外観写真2



内観写真1

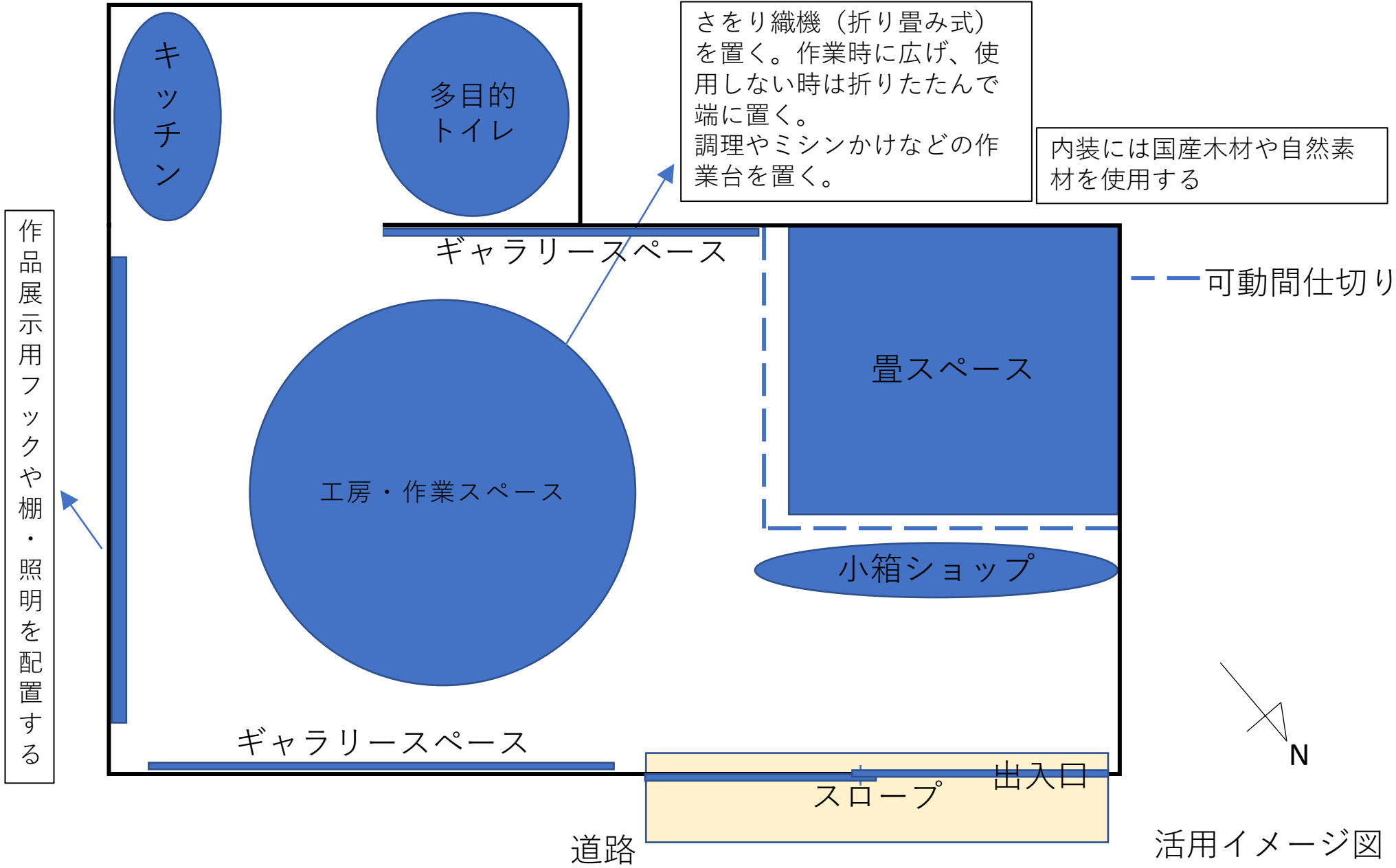


内観写真2



内観写真3

現況写真





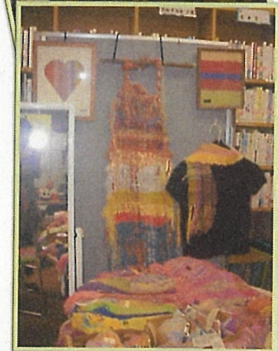
# KSG



KSG は、横浜市立中学校の個別支援学級卒業生を中心とする、「さをり」グループです。横浜市フォーラム（男女共同参画センター）に毎月1回程度集まって楽しく織っています。年に1回フォーラム祭りやギャラリー *nana* で展示販売しています。



## ✕フォーラムまつり



KSG のメンバー“理彩さん”“彰人さん”“佑太郎さん”は、My織りネームを持っている作家さんです。

